

茂原市の 認知症への 取り組みを 紹介します

認知症サポーター養成講座

認知症サポーターは、何か特別なことをする人ではありません。認知症を正しく理解し、偏見を持たず、認知症の方やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で活動する「応援者」のことです。

市内在住・在勤・在学者を5人以上集めて会場をご用意いただければ、講師を派遣し講座を開催します。

認知症初期集中支援チーム

認知症初期集中支援チームは、医療・介護の専門職により、必要な介護の導入、家族支援などの初期支援を行い、自立支援のサポートを行うチームです。

ひどい物忘れや認知症が疑われるような症状でお困りの際は、必要に応じ、ご自宅にお伺いしてサポートします。

認知症高齢者等 見守りシールの支給

見守りシールは、QRコードが印字されたシールで、高齢者の衣服やかばんなどの持ち物に貼って使用します。発見した方がQRコードを読み取ること、介護者とインターネット上の伝言板を通じてやり取りでき、「発見→保護→帰宅」までを迅速に行うことができます。

◆対象

65歳以上で、要介護または要支援認定を受け、認知症による徘徊症状がみられる在宅の市内在住者

◆支給枚数

対象者1人につき40枚
※要事前申請



もばら認知症あんしんガイド (認知症ケアパス)



もばら認知症あんしんガイドは、認知症の方とその家族が、認知症の進行に合わせてさまざまな制度やサービスを円滑に受けられるよう、本市の制度やサービスを分かりやすくまとめたものです。

地域包括支援室、地域包括支援センター、地域の福祉センターなどで配布していますので、ご活用ください。